

● 広報

おくび



2012

11

NO.697



すこやか
小国っ子
シリーズ ④

～散歩で見つけた秋～

10月16日、すみれ保育園2歳児の皆さんが、先生と一緒に散歩に出かけました。ススキも落ち葉もネコジャラシも、大切な遊び相手。爽やかな秋の日差しが、笑顔と季節の移り変わりを映し出していました。

持続可能な農業を目指して 小国の農業の姿

全国的に高齢化、後継者不足などから農業者が減少するとともに、農地の荒廃化が懸念されています。本町でも同様に、農業の担い手の確保、生産性のある農地を確保していくことなどが課題となっています。このような課題に対応し、次代の担い手づくりや、より付加価値の高い農産物を生産しようと、意欲的に取り組んでいる本町の農業者、団体のかたがたがいます。今回は、こうした皆さんの取り組みを紹介し、これからの農業について考えます。



農業は大切な産業

食糧を生産する農業は、私たちの暮らしに欠かせない大切な産業です。農地には、私たちが生きていくために必要な米や野菜などの生産の場としての機能に加え、水田には雨水を一時的に貯留し洪水や土砂崩れを防ぐ機能があるとともに、多様な生きものを育む舞台となっています。また、日本の原風景ともいえる農村の風景は、私たちの心を和ませてくれます。

表 1 小国町の農家数の推移

(単位：戸)

年	総 農 家	販 売 農 家	自給的農家
H2	949	758	191
H7	768	614	154
H12	680	528	152
H17	584	414	170
H22	516	342	174

出典 農林業センサス

※販売農家とは、経営耕地面積が30アール以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家。
※自給的農家とは、経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家。

表 2 小国町の新規就農者の推移

	H19	H20	H21	H22	H23
新 規 就 農 者	2 人	2 人	2 人	2 人	1 人

産業振興課調べ

新規就農を目指して

多面的な機能を持つ農地を守り、農業が未来へ進んでいくためには、農業の担い手の育成をはじめ、農用地の集積や、農作業の効率化、耕作放棄地を解消していく取り組みが重要です。

就農といっても、新しく農業を始めるためには、生産する作物の基礎知識の習得をはじめ、農業経営に対する考え方や、またその土地にあった実践的な栽培方法を学ぶ必要



大谷 健人さん



山口 智章さん

があります。2010農林業センサスによると、本町の農家数は、516戸で、平均年齢は、66・5歳（基幹的農業従事者）となっています。将来に渡って本町農業を持続的な産業としていくためには、新しい就農者の確保が重要となっています。

こうしたことから、新規就農者を育成するため、国や全国の地方自治体では様々な取り組みが進められています。小国町では、昨年度から、町内に就農を希望するかたが先進農家で研修する場合に経費

を助成する新規就農者育成支援事業を創設していますが、表2のとおり、過去5年間で、20歳から40歳代までの9人のかたがたが町内で就農するなど新しい動きが広がっています。

山口智章さん（中島）は、再来年の就農をめざし、本年度から大谷健人さん（西）のもとで、栽培技術を学んでいます。

山口さんは「以前は、都内で会社勤めをしていましたが、いつか地元で農業をやってみたいと思っていました。兼業農家で育ったので、小さいころから、農業の風景を見ていましたし、手伝ったこともありました。自分の手で種や苗を植え、作物を育て収穫したことはありませんでした。また、農業を新たに始めるには、様々な作物の栽培技術、知識を習得する必要がありますし、農業資機材も必要になります。こうしたなかで、国の新規就農に対する支援制度もあったので、この制度を活用して、就農にチャ



レンジしてみようと思いましたが、現在は、水稻栽培のほか、トマトや花きなど園芸作物の栽培を学んでいます。小国町の豊かな自然を活用して、将来的には、水稻と花き栽培を中心に取り組んでいきたいと思っています。」と話してくれました。

また、山口さんを受け入れている大谷さんは「私の場合

は、水稻栽培に加え、耐雪ハウスを用いた園芸作物の生産により、通年型の農業に取り組む、所得を確保しています。生産しているアスパラ菜やトマト、花きなどは町内のスーパーや道の駅等に出荷しているほか、直売も行っています。消費者の皆さんに買ってもらえるような作物を出荷することを心がけています。山口さんには、

一連の栽培の流れはもとより、作物（収穫物）を丁寧に扱うこともアドバースしています。近年、就農する若い人たちが増えてきていますが、彼らと情報交換し、協力しながら、小国の農業を盛り上げていきたいと考えています。」と話してくれました。

平成21年に新規就農した横山洋平さん（泉岡）は、「農業を始めて4年目になります。身近なところ



横山洋平さん

で休耕田が増えてきて、景観の面からもこれを何とかしなければと思うようになり、農業に取り組みました。主として減農薬での水稻栽培に取り組む、生産したコメは、町内の宿泊施設等に出荷しています。宿泊した観光客のかたから、直接コメを買いたいとの声をいただくこともありま。農業は、気象に合わせて手を加えないといけない難しさがありますが、観光客を含め消費者の皆さんからの反響やニーズは、私たち農業者にとって大きなやりがいにつながると思っています。これから、小国町の美しい田園風景を守るとともに、多くのかたがたに小国の農産物の良さを知ってもらえるよう頑張っていきたいと考えています。」と話してくれました。

生産性のある農地の確保

農家の高齢化などにより、離農するかたが増え、生産性があるにもかかわらず、利用されていない農地が増加してきています。

耕作放棄地とは、農林業センサスにおいて「以前耕地であつたもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地」のことをいいます。耕作放棄地を解消し、生産性のある農地として復元していくことは、農地の多面的機能の保全につながります。

町では、平成21年度から行政、農業者、関係団体から構成される小国町耕作放棄地対策協議会（現在は小国町地域農業再生協議会）を設立し、耕作放棄地の解消に取り組んできています。この結果、これまで放置されていた4・2ヘクタールの耕作放棄地にソバ等が植えられ、生産性のある農地としてよみがえっています。



耕作放棄地へのソバの作付け（大字片貝地内）

この取り組みを南部地区で実践している南部地区営農生産組合の横山信一さん（泉岡）は、「年々、離農者が増え、それに伴い耕作放棄地も増加している傾向にありましたが、南部地区では、平成21年度、南部営農生産組合を立ち上げ、南部地区の農用地の有効活用を図るため、遊休農地でのソバの作付けを実践してきています。また、観光客を対象として野菜の収穫体験や、ホタルを鑑賞する催しも行い、南部地区全体の地域活性化にも取り組んでいます。」



雑穀（アワ）の乾燥風景

農地の生産性を維持しながら、新たな特産品となる農産物を生み出していきたいという努力をしていきたいと考えています。」と話してくれました。

付加価値を高める取り組み

農作物の生産だけでなく、加工、販売までもに農業者がかかわり、これを一体的に進める取り組みを、農業の6次産業化といいます。町内の農家では、収穫した野菜などを漬物として直売する例や、雑穀を加工して洋菓子として販



山口ひとみさん

売している例が見られます。山口ひとみさん（大石沢）は、「雑穀の栽培をはじめて14年になりますが、2010年に旬彩工房を立ち上げ、パンや、雑穀を用いた洋菓子を販売するようになりました。消費者と生産者は車の両輪です。安んじて食べていただくとともに、私たちも作りたいと心がけています。加工して販売することは、農家の所得向上にもつながります。インターネットを活用してコマや雑穀などの販売もしていますが、主体は町内での販売です。付加価値をつけて、広く情報発信し、販売すること大切ですが、地域の人たちがおいしく味わい、楽しむことも大切です。皆さんと協力し合いながら、雑穀の食べ方

の普及にも取り組み、小国町の特産品にしていきたいです。」と話してくれました。

持続可能な農業の

確立に向けて

農業を取り巻く厳しい環境のなか、農業を選択し、それを地域全体の活性化につなげていこうと積極的に取り組む農業者、団体の姿がありました。また、そのなかで遊休農地の活用や、小国らしい地元農産物の販路の拡大に向けて、より付加価値の高い加工品を生産していく取り組みもみられます。

町では、引き続き、農業に関心を持ち、就農を目指すかたがたへの支援を行うとともに、意欲的な農業者が、効果的・効率的に農産物を生産できる環境整備を推進し、その経営の安定化を図っていきます。また、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地の多面的な機能を保全しながら、持続可能な農業の確立を目指していきます。

名誉町民 元小国町長 今 周一郎氏 ご逝去



羽越水害の被害状況を安孫子県知事に報告する今町長（昭和42年9月4日）



今町長在任時に建設されたおぐに開発総合センター（昭和43年11月13日）



去る9月24日、小国町名誉町民、元小国町長の今周一郎さんが享年94歳でご逝去されました。告別式は、今家と小国町の合同葬をもって、10月14日午後1時より小国中学校体育館において、しめやかに執り行われました。会場には、故人の功績をたたえ遺徳をしのんでたくさんの町民の皆さんが参列し、最後のお別れをしました。

今さんは、昭和30年3月、小国町議会議員に当選、議会人として活躍された後、昭和39年8月、小国町長に就任しました。在任中は、町民の信望を一身に集められ、優れた行政手腕をもって小国町発展に心血を注がれました。

今日ある小国の礎を築く

当時の小国町は厳しい自然条件のなかで後進性を余儀なくされていましたが、この辺地性からの脱却を緊急課題として、諸施策を実施されました。なかでも、山村における拠点開発構想は、地域開発にかかる「小国方式」として全国に知られ、その中核施設として昭和43年、他に先駆けて建設したおぐに開発総合センターは、「21世紀への築城」として全国の注目を集めました。

また、昭和42年に発生した羽越水害で本町は壊滅的な被害を受けましたが、「禍転じて福と為す」を目標に掲げ、献身的な努力をされました。加えて、災害の復興と並行し

て、生活圈整備構想、産業圏整備構想、自然教育圏整備構想等のまちづくり計画を樹立し、道路交通網や生活関連公共施設の整備を進めてきました。さらに、町が目標とする「自然と調和した活力ある町」を実現するため、土地改良事業や企業誘致の推進、福祉対策や克雪対策などを住民総参加のもとに展開されました。

卓越した見識のもと

数多くの要職を歴任

まちづくりにおける卓越した見識、指導力は全国から高く評価され、全国町村会常任理事、山形県町村会会長をはじめ70余の要職を歴任され山形県及び全国の社会経済の振興と発展に寄与されました。昭和63年8月町長職を退任されましたが、同年11月、これまでの輝かしい功績が認められ、小国町名誉町民の称号が授与されました。

現在の小国町の基礎を築いた今さんに限らない敬慕の念を捧げ、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

シリーズ 協力隊通信 ⑥

地域の魅力を未来に つないでいくために

栗 本 美 紀



玉川地区には十三峠のうち萱野峠、大里峠があり、峠を活用したイベントが行われています。こうした地域資源を生かした取り組みは、地域間交流が深まりますし、地域活性化にもつながるものだと思います。ただ、イベントに関わる地元の皆さんは60歳から70歳のかたがたが多いのが現状で、この先継続していくためには、若い世代の人達の力が必要です。

このような取り組みを通じて、多くの観光客を玉川に誘致し、知名度を高めていくためには、PRの方法や、地元の人達の協力体制などにさらに力を入れていくことが重要であると考えます。萱野峠の敷石は歴史があって風情もあり、とても素晴らしい財産です。課題を解決し、力を合わせて未来につないでほしいと思っています。

町長室
便り②

子どもは「小国の宝」

盛田 信明



私は、次代を担う子どもたちは、「小国の宝」だと思っています。すべての子どもたちが、小国町の大自然と地域の温かいまなざしのなかですくすくと成長し、大きな夢や希望を持って、その実現に向かって努力できる環境を整備したいと考えています。

そのために私は、「小中学校の給食の実施」を公約に掲げました。平成26年4月の新小学校の開校に併せて中学校への給食を実施する方針が示されていましたが、できるだけ早期にすべての児童生徒に同じ給食を食べることが平等であり、食育の始めであると思っています。また、多くのかたから要望をいただいております「スクールバスの部活遠征への活用」についても、10月下旬から各学校との調整を図りながら実施することといたしました。

「法政大学への自治体推薦首长交流会」が沖縄県読谷村で開

催され、私も出席しました。全国で10市町村が法政大学現代福祉学部への推薦枠をもっており、本町もその一つです。会議終了後の関係者及び学生との交流会では、増岡の伊藤祥希さん（2年生）、東原の渡部六花さん（1年生）も参加しており、自分の目標に向かって頑張っている姿が印象的でした。遠い沖縄の地で本町出身の学生と会い、二人の担当教授の先生から「一生懸命頑張っています。」とお言葉をいただき、思わず熱いものがこみ上げてきました。ガンバレ！小国の子どもたち。



盛田町長、伊藤祥希さん、渡部六花さん



平成24年11月15日から

山形県ドクターヘリの運航が始まります

ドクターヘリとは

医療機器や医薬品を搭載した小型ヘリコプターに、救急医療の専門医と看護師が搭乗し、一刻も早く患者に救命治療を行う医療専用のヘリコプターです。

その特長は、機動性と迅速性にあり、時速約200kmのスピードで、県内全域をほぼ30分でカバーすることができ、機体も小型であるため、救急現場近くの学校のグラウンドや駐車場などを臨時の離着陸場として、直ちに救命医療を行います。

山形県のドクターヘリは、基地病院の県立中央病院（救命救急センター）に常駐し、消防機関からの出動要請に基づき、救急現場に駆けつけ、必要な救命治療を行った後、地域の拠点病院等に搬送します。救急医療の専門医が速やかに救急現場で救命治療を開始できることや、高度な救急医療機関等への搬送時間が短縮されることで、救命率の向上、後遺症の軽減につながります。

上、後遺症の軽減につながります。

町内のランデブーポイント

ランデブーポイントとは、あらかじめ定められたドクターヘリの臨時の離着陸場で、救急車と合流し患者を引き継ぐ場所です。

小国町では、16個所が選定されていますが、通常運航においては、上記の5カ所が設定されています。

※ただし本年度は、小国町立病院駐車場のみとなります。

皆さんへのお願い

■吹き下ろしの強い風が発生しますので、消防職員等の誘導に従い、ヘリコプターが離着陸する場所から退避してください。

■ヘリコプターの離着陸の際

通常使用する小国町内のランデブーポイント（臨時の離着陸場）

- ・ 白い森交流センターりふれ南側駐車場
- ・ 小国町立病院駐車場
- ・ 国民宿舎梅花皮荘駐車場
- ・ 叶水河川敷ヘリポート
- ・ 旧白沼小中学校グラウンド

※平成24年度は小国町立病院駐車場のみとなります。また、町立病院駐車場は通年使用ですが、他の場所は冬季以外の使用となります。

は、風圧や騒音が発生します。吹き飛ばされやすいものは室内にしまつて、窓を閉めてください。

■ヘリコプターが着陸後、直ちに救命活動を行いますので、近寄らないでください。

■町立病院駐車場のランデブーポイント内には、駐車できません。

ドクターヘリ Q & A

ドクターヘリの運航時間は
どうなっていますか？

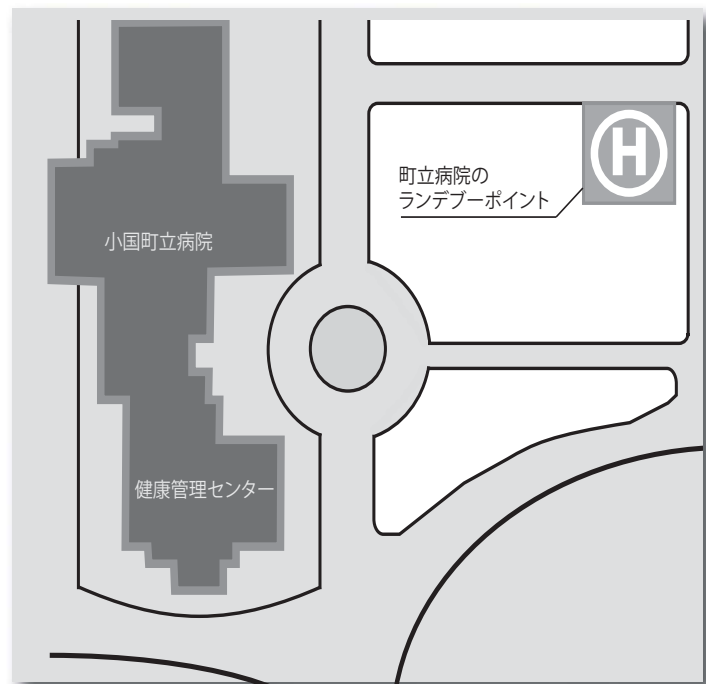
■原則として、午前8時30分から午後5時15分まで土日祝祭日を含め毎日運航します。※季節により運航時間は多少変わります。

■悪天候や日没後等による視界不良時は運航を休止します。

ドクターヘリは誰でも
要請できますか？

■出動要請は119番通報を

小国町立病院駐車場 ランデブーポイント位置図



ドクターヘリには
誰が乗っているのですか？

■原則として、パイロットと整備士のほか、医師と看護師が搭乗します。

■受けた消防機関が患者の重症度等を判断して行います。

■一般の町民のかたが、直接ドクターヘリを要請することはできません。

利用した場合、
費用はかかりますか？

■ドクターヘリによる搬送自体の費用はかかりませんが、救急現場やドクターヘリ内などで治療に要した医療費

■患者は最大2名まで搬送できます。ただし、家族・付添者は、原則として搭乗できません。

については、通常の医療費と同様、医療保険制度に基づき請求されます。

■治療に使用した医療資機材の返送費用等、医療保険の適用外となる費用について、実費をご負担いただく場合があります。

どこの病院に
搬送されますか？

■原則として、各地域の拠点病院または基地病院等へ搬送されます。

■各地域の拠点病院で対応できない場合、または専門・高度な治療を必要とする場合は、三次救急医療機関（救命救急センターまたは大学病院）へ搬送されます。

■ドクターヘリの搭乗医師が患者の容態等を考慮し、救急車で拠点病院以外の最寄りの救急病院へ搬送する場合があります。

◆問合せ先 健康福祉課
(☎61-1000)へ

仕事の厳しさ、やりがいを感じました ～中学生職場体験(キャリアスタートウィーク)～



10月9日から10月15日までの期間、町内の中学2年生81人が、32事業所でそれぞれ職場体験を行いました。

この取り組みは、豊かな人生観や、職業観を身に付け、将来の職業選択に生かしてもらおうと、毎年実施しているものです。

老人保健施設温身の郷で介護の仕事を体験した二村綾香さん(小国中)は、「体力が求められる仕事ですが、やりがいを感じました。将来に生かしていきたいと思います。」と話してくれました。

秋の味覚を安全に楽しむために ～きのこ研修会～



町と町森林組合が主催した「きのこ研修会」が、10月21日、アスモで開かれ約30人が参加しました。

この日は、県森林研究研修センターなどから講師を招き、参加者が持ち込んだキノコの判別会や、キノコ採取の注意点や栽培方法、保存方法をテーマに研修が行われました。参加者は、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。

パークゴルフを楽しみました ～パークゴルフ体験イベント～

パークゴルフ体験イベントが、10月21日、水源の郷交流広場パークゴルフ場で開催され、約50人が参加しました。

このイベントは、より多くの人にパークゴルフに親しんでもらおうと、町が主催したもので、当日はあいにくの空模様となりましたが、参加者は4～5人のグループに分かれて全18ホールを回り、打球に一喜一憂しながらプレーを楽しんでいました。



地域の魅力を掘り起し

～第10回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊～



越後米沢街道・十三峠のひとつとして知られる「萱野峠」の敷石掘りイベント「第10回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊」が、9月29日、萱野峠で行われました。

当日は、町内外から一般のかたや大学生など約50人が参加し、班ごとに分かれてクワやスコップを手に敷石の掘り起し作業を行いました。足野水側の地点では、整然と並べられた敷石が顔を出し、参加者が感慨深げに写真を撮る姿が見られました。

日ごろの防災対策を確認

～小国町総合防災訓練～

小国町総合防災訓練が、9月30日、幸町地区で実施され、小国町消防団や地域住民など約310人が参加しました。

当日は、地域住民のバケツリレーによる初期消火訓練や、消防団による火災防ぎょ訓練、応急処置救急救護訓練、炊き出し訓練などが行われました。

参加者は、真剣な表情で訓練に取り組み、大規模災害に対する備えや、避難手順などを確認していました。



笑顔キラリ

Smile.19

福田 雄貴さん

DATA

- ふくだ ゆうき
- 年齢/21歳
- 住まい/岩井沢
- 趣味/野球、スノーボード、旅行



Fukuda
Yuki

置賜森林管理署に勤務しています。多くの皆さんが森林に親しんでもらえるよう、様々なイベントの企画を担当しているほか、ナラ枯れやクマハギの調査なども行っています。小国には、飯豊連峰や朝日連峰、温身平など、雄大で美しい自然がたくさんあります。地域のかたがたと連携して、この豊かな自然を守っていききたいと考えています。

また、私は熊本県出身ですが、町内の若者グループ「おも白い森」に所属し、各種イベントの実施にかかわっています。町がさらに元気になるよう皆さんと交流を深めながら、地域に貢献していききたいと思います。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《小坂町団地》

3DK 1戸（2階）

▽家賃 所得と家族構成により決定します。

▽対象 所得制限がありますのでお問い合わせください。

《小坂町勤労者住宅》

2DK 4戸

（1階・2階・3階）

▽家賃 33,000円

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 2戸（2階・3階）

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 11月9日（金）

■入居時期 11月下旬以降

■問合先

地域整備課建設管理室へ

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 1戸

▽家賃 所得により決定

▽対象 同居親族がいるかた（所得制限あり）

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 11月9日（金）

■入居時期 12月下旬

■問合先

県営住宅指定管理者（株）西

王不動産置賜事務所（☎0238-24-2332）へ

ご案内

第10回おぐに鍋まつり

いろいろな鍋が出品されます。ぜひ食べ比べてお楽しみください。

■日時 11月4日（日）

午前11時30分販売開始

■場所 アスモ西側駐車場

■その他 第10回を記念して大餅まき大会も行います。

■問合先 鍋まつり実行委員会（小国町商工会内 ☎62-4146）へ

河川の支障木を

利用しませんか

山形県では、河川管理上支障となる樹木の伐採協力者を募集します。県が指定する条件恵地での支障木の伐採・利用については、経費の一部を

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も
人体に対して影響のない水準です～
■10月23日（火）の空間放射線量

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
北部小中学校 グラウンド	0.12
沖庭小学校 グラウンド	0.11
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.11
旧玉川小中学校 グラウンド	0.11
小国小学校 グラウンド	0.12
小国中学校 グラウンド	0.11
叶水小中学校 グラウンド	0.12
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.10
旧白沼小中学校 グラウンド	0.10

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合先 町民税務課町民生活担当へ

排水工事責任技術者

登録更新のお知らせ

日本下水道協会山形県支部（現・山形県下水道協会）に登録している責任技術者で、登録の有効期限が平成25年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事店所在地の市町村で更新手続きが必要です。

必要な手続き

- ①登録更新の申請
- ②更新講習会の受講

申請期間

11月1日（木）～11月30日（金）

申込・問合先

地域整備課水道管理室へ

■対象者

自ら支障木を伐採・利用するかた（団体・企業等を含む）

■対象河川 荒川（小国町長

沢、焼山地内）、置賜白川

（飯豊町添川地内）、置賜白

川（飯豊町黒沢地内）

■申込期限 11月13日（火）

■問合先 置賜総合支庁西置

賜河川砂防課維持調査担当
（☎88-8233）へ

今月の出前町長室は以下のとおりです。お気軽においでください。

27日(火) 15:00～16:00【アスモ街なか情報ステーション】※11月は、月1回の開催となります。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238(62)2611

11月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■2歳児歯科健診

- ・期 日 11月28日(火)
- ・受付時間 13:00～13:15
- ・対 象 平成22年3月、4月
5月生まれ

■4カ月児健診

- ・期 日 11月30日(金)
- ・受付時間 13:10～13:20
- ・対 象 平成24年7月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 11月30日(金)
- ・受付時間 13:00～13:10
- ・対 象 平成23年11月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

子育て支援センターから

■問合先 子育て支援センターへ

☆あそびの広場☆

■日 時 11月6日、13日

(子育て講座・おやつ作り)、
20日、27日いずれも午前10
時～11時30分

■場 所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日 時 11月1日、8日、
15日、22日、29日いずれも

午前10時～11時30分

■場 所 おぐに保育園

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日 時 11月22日(木)

午後1時～午後3時30分

■場 所 おぐに保育園

■対象者 生後4カ月から15
カ月のお子さんとお家のかた

☆おぐにの子どもの日まつり☆

■日 時 11月10日(土)

午前9時30分～正午

■場 所 健康管理センター

■内 容 良い歯のコンク
ー表彰式、人形劇、バル
ー

■対象者 概ね2歳から入
学

前のお子さんとお家のかた

求 人 情 報

右の表は、10月25日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合がありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2012.11

11月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●11月26日(月) 水道料

●11月30日(金) 国民健康
保険税・後期高齢者保険料
(5期)、介護保険料、下水
道料・簡易水道料、住宅使
用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
社 会 福 祉 法 人 小国町社会福祉協議会	訪問介護員	1人	8:30～17:15
king(株) 東 北 支 店	(請)下水道処理施設 運転員	1人	8:15～17:15
遠 藤 建 設 (株)	普通作業員	4人	8:00～17:00
(株) コ メ リ 新潟地区本部	販売員(山形・新 潟・長野ノリー ジョナル社員)	1人	9:00～18:00 10:00～19:00 12:30～21:30
(株) 横 川 建 設	普通作業員	4人	8:00～17:00
安 部 工 業 (株)	型枠大工 一般作業員	2人	8:00～17:00
(株) 山 芳 工 務 店	電気設備施工管理	2人	8:00～17:00
大 河 内 産 業 (有)	ダンプ・重機運 転士・一般事務員、 砂利プラント運転 士・他	8人	8:00～17:00
ア ク サ 生 命 保 険 (株) 長 井 営 業 所	商工会議所・商工 会共済・福祉制度 推進スタッフ 【急募】	4人	9:15～17:00
小 国 食 糧 (株)	店頭販売員	1人	8:30～18:30

※今月は、10月以降に登録された求人掲載しています。

町政懇談会を開催します

各地域や団体のかたがたから身近な課題などをお聴きし、まちづくりについて意見を交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体

各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などで、話し合いにより、交流と理解を深め、まちづくりに積極的に参加する団体

■開催方法

①開催希望団体から、希望する日時、懇談会に提出するテーマなどを明記した申込書を提出いただき、日程等の調整を行ったうえで開催します。

②懇談会には、町長のほか、テーマに係る担当課長などが出席します。

③会場の設定、進行は各団体にお願いします。

■申込・問合せ先 総務企画課政策企画室へ

小国町生涯学習推進計画 策定懇談会委員募集

町では、現在の小国町にふさわしい生涯学習の推進方向を定めるため、「小国町生涯学習推進計画」を策定することといたしました。

町民の皆様方から意見や提案をいただき、より身近な計画にしていくため、「策定懇談会」を設置し、この懇談会の公募委員を次のとおり募集します。

■応募資格 20歳以上の町民のかた

■募集人員 2人

■募集期限 11月12日(月)

■応募・問合せ先 教育委員会事務局へ

相 談

年金相談……………

■日 時 11月21日(水)
10:30~14:00

■場 所 役場町民相談室

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先
町民税務課住民窓口担当へ

人権相談……………

■日 時 11月21日(水)
10:00~12:00

■場 所 総合センター

■対応者 町人権擁護委員

■問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談……………

■日 時 11月24日(土)
10:00~15:00

■場 所 役場雇用相談室

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当へ

行政相談……………

■日 時 12月1日(土)
10:00~12:00

■場 所 総合センター

■対応者 行政相談委員

齋藤恒助氏

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

弁護士無料法律相談……………

■日 時 12月7日(金)
10:00~15:00

■場 所 総合センター

■対応者 町顧問弁護士

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先
町民税務課町民生活担当へ

総 合 セ ン タ ー 図 書 室 か ら

～新着図書～

◇東北発！女性起業家28のストーリー

◇毒草・薬草事典 船山 信次

◇検査と数値を知る事典 和田 高士

◇お母さんのためのワクチン接種ガイド

・・・休館日・・・ 毎週月曜日・祝日

山形県最低賃金

1時間 654円

効力発生日：平成24年10月24日

この最低賃金は、県内で働くすべての労働者に適用されます。

■問合せ先 山形労働局労働基準部賃金室
(☎023-624-8224) へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設技術室 ☎62-2432
- 政策企画室 ☎62-2264
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 議会事務局 ☎62-2448
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室・水道管理室 ☎62-2431

秋の火災予防運動

「消すまでは 出ない行かない 離れない」
(平成24年全国統一防火標語)

秋の火災予防運動を、11月9日(金)から15日(木)までの7日間実施します。

期間中は、午前7時と午後6時に、役場の非常サイレンを鳴らします。火災と間違わないようにしてください。また、11日(日)午前9時から11時30分までの間、消防自動車火災予防パレードを行い、町内で啓発活動を行います。

■問合せ先
消防署小国分署
(☎62-2154)へ

耐震診断費助成事業を行います

町では、地震に対する住宅の安全性の向上を図るため、木造住宅の耐震診断に要する費用に対して助成を行います。

■補助要件

- ①昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震診断であること。
- ②町内に住所を有するかたで、自らが居住し又は3親等以内の親族が居住する住宅であること。
- ③小国町木造住宅耐震診断士が行う診断であること。
- ④診断日の1カ月前までに補助金の交付申請をし、平成25年3月10日前に診断が完了すること。

■補助限度額 10万円

■その他

詳しい補助要件、耐震診断士に関すること、申請様式等についてはお問い合わせください。

■申込・問合せ先 地域整備課建設管理室へ

小国町森林体験観光推進事業 トレッキングモニターツアーと 陶芸教室のご案内

越後米沢街道・十三峠 トレッキングモニターツアー

- 日 時 11月10日(土) 9:00~16:00
- コース 大久保峠~宇津峠~諏訪峠
川西町「浴浴センターまどか」駐車場集合
- 対象 親子、一般のかた
- 参加費 1,000円
- 申込期限 11月7日(水)

コップやお皿の制作だけではない 陶芸教室

- 日 時 11月18日(日) 9:30~12:30
- 会場 総合センター交流室
- 対象 親子、一般のかた
- 参加費 800円
- 持ち物 エプロン、手拭タオルなど。
汚れてもいい服装で参加ください。
- ◆申込・問合せ先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん
探検隊 (☎050-7507-5955) へ

除雪機を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、町の除雪機械(ハンドガイド式小型除雪機械35馬力)を貸し出します。

■対象道路

- ◎町道その他町が管理する道路で、道幅の狭い1車線の道路または歩道
- ◎個人または法人が管理し、不特定の一般交通の用に供されている道路など

■対象者

- ◎2世帯以上で構成する任意団体
- ◎町長が特に認める個人または法人
- ※除雪を業とするかたには貸与できません。

■申込期間 11月1日(木)~11月16日(金)

■貸出期間 11月下旬~平成25年3月31日

■その他

申込件数が多い場合、選考審査会で決定します。

■申込・問合せ先 地域整備課建設管理室へ

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

玉川伊藤 悠真 (佑介)
小国町佐藤 奏人 (春介)
北小嶋 太雅 (知里)

結婚おめでとうございます。

(寒河江市 佐竹 和明
白子 沢 遠藤 瞳)

おくやみ申し上げます。

樽口 渡邊キヨ子 (83)
岩井沢 小関キチ (84)
増岡 小関吉雄 (89)
増岡 鈴木小右衛門 (87)
若山 今マツエ (78)
東原 渡部孝弘 (67)
増岡 後藤つふ子 (87)
小国小坂町 今周一郎 (94)
岩井沢 齋藤リエ (98)

人口のうごき

人口 男・・・4,250人(－2)
女・・・4,505人(－7)
計・・・8,755人(－9)
世帯数 3,231世帯(＋2)
平成24年9月30日現在

訂正とおわび

先月号の8ページに記載している教育委員の任期に誤りがありました。

高橋和衛氏及び柴田伸也氏の任期は「平成27年9月30日まで」と記載していましたが、正しくは「平成28年9月30日まで」でした。訂正し、おわびいたします。

シリーズ 健康道場

その七 ストレートネックの予防と緩和

頭の重みで首周辺の筋肉が張り、頸椎のカーブが失われる状態をストレートネックといいます。

長時間、パソコン画面を見ていると、首は前へ前へと倒れてしまいます。頸椎は真っ直ぐ頭を上にするためカーブを描いているのに、頭が前に倒れるため、首の前と後ろの筋肉が張り、いつの間にかカーブが失われ、首に大きな負担が掛かります。

こうした生活が、どんどん首を前に倒してしまい、頭痛、肩こり、背中こり、眼の疲れにつながります。思い当たるかたには、ストレッチと運動をおすすめします。

Yui オススメエクササイズのポイント

①背筋を伸ばして、両手を腰におき、視線は正面を向きます。そこで、真っ直ぐあごを持ち上げ、元に戻します。
・1セット20回程度
・1日数セット



②首と胸の筋肉をストレッチします。あごに両手を添えて、頭を後ろに倒します。
・1分程度キープ

※お問合せ先 **おぐにYui** スポーツクラブ ☎62-5808

編集後記

山々が色づき、季節の移ろいを感じさせてくれます。町内ではこの時期、多くの写真愛好家のかたがたが、様々な場所で紅葉に染まる山々を撮影しています。朱に染まる山々、キノコなど秋の味覚、多くのかたがたが「旬の小国」を楽しむことでしょう。朝晩の冷え込みが厳しくなると、温かい食べ物に恋しくなります。11月4日には、毎年恒例の「おぐに鍋まつり」が開催されますので、私も取材しながらアツアツの鍋を食べ比べてみたいと思います。(加藤)